

第6回超高齢社会に対応したごみの収集方法等に関するワークショップまとめ

戸別収集導入推進班		
戸別収集導入推進班のまとめ	ステーション収集維持班又は市の意見	戸別収集導入推進班又は市の回答
<p>メリット</p> <p>1 集積所まで運ばなくてよいので、高齢者や0・1・2歳の子育て世帯が楽になる。</p> <p>2 排出者責任が明確になるため、ごみの減量と分別が進む⇒ごみに対する意識が変わる。「自分が出すのだからしっかりしなくちゃ」</p> <p>3 ごみの散乱が少なくなる。⇒まちの美化につながる。</p> <p>4 ごみに対する意識が高まる。</p> <p>5 集積所に係るトラブルがなくなる。</p> <p>6 マナーの向上が図られる。⇒排出者責任が明確になるので、収集員の「なんでもいいから持って行ってしまおう。」ということがなくなる。</p> <p>デメリット</p> <p>1 収集時間にタイムラグがあることによる散乱</p> <p>⇒解決方法</p> <p>個人で箱を用意する。各エリアの収集時間の目安を明確にする。収集時間を早朝や深夜に変更する。</p>	<p>意見1</p> <p>戸別収集では、狭い道に収集車が入った場合、渋滞等が起きるのではないかな。</p>	<p>回答1</p> <p>二人乗車で一人が収集車を走らせ、一人が並走してごみを集めて収集車に入れる方法なので心配ない。</p>
	<p>意見2</p> <p>環境美化を推進するためには、各自がまちをきれいにする気持ちを持つことが大切なので、環境教育を充実させた方が良いのではないかな。</p>	<p>回答2</p> <p>収集方法に関わらず、環境教育は必要。子どもの頃から啓発していくことが大事だが、高齢になると分別しようという意識はあっても体が動かず、できなくなることがある。</p>
	<p>意見3</p> <p>歩ける高齢者にとって、ごみを出すために外に出る機会を確保することは大切なのではないかな。戸別収集を導入することによって、高齢者が引きこもりになったり、近所の人が高齢者の状況を把握できなくなったりするのではないかな。</p>	<p>回答3</p> <p>集積所では、誰がどのごみを出したか判別がつかないが、家の前に出せば高齢者宅のごみが何日も出ていなければ、近所の人や収集員が気づくことができるので、高齢者の状況を把握しやすくなる。また、資源や粗大ごみは集積所で回収すれば、外に出る機会を確保することができる。</p>
	<p>意見4</p> <p>自宅前が細いうえに渋滞する道路である場合、歩行者が他人の敷地内に立ち入って安全を確保する場合もある。ごみ袋を置く場所によっては、交通事故が発生する危険もでてくる。</p>	<p>回答4</p> <p>そういった状況は把握していなかった。</p>

<p>2 減量の効果は少ない。 ⇒解決方法 有料化とセットで実施する。</p> <p>3 事業者の不法投棄 ⇒解決方法 市が、適正排出の指導を徹底する。</p> <p>4 ボランティア等で集めたごみの収集をどうするか。 ⇒解決方法 ボランティア専用のごみ集積所を地域に設置する。</p> <p>5 個人情報 ⇒解決方法 氏名をとって出すなど個人で管理する。</p>	<p>意見5（市） 市内の世帯の半数は集合住宅になるが、集合住宅は戸別収集になっても現状と同じように集積所にごみを出すことになる。行政サービスの不公平感を感じるのではないか。</p>	<p>回答5 戸別収集を導入する場合、収集に係る経費は増加する。経費が上がって、戸建ての人の行政サービスだけの変更になるという観点からは、不公平感ということになるかもしれないが、どこにごみを持っていくかという行政サービスの向上ではなくて、自分が適正にごみを出せば良い結果に繋がるという面での公平感という解釈であるべきではないか。 戸建て住宅と集合住宅の不公平感はベースにあるかもしれないが、それをどうしたらなくせるかということを考えることが重要で、例えば、適正排出をしっかりと守っている地区は市税を低減するとか、報奨金を出すとか、頑張ったことへのご褒美を考えていく必要がある。</p>
<p>その他</p> <p>1 収集員の作業が増える。</p> <p>2 燃える・燃やせる⇒意識と言葉の精査</p>	<p>意見6（市） ごみが飛ばないように、蓋付きの容器に入れて出す場合は、近所の目がないので、適正排出の推進に繋げることは難しいのではないか。</p>	<p>回答6 適正に分別されていないごみは、回収しない姿勢が大切である。</p>

ステーション収集維持班

ステーション収集維持班のまとめ	戸別収集導入推進班又は市の意見	ステーション収集維持班又は市の回答
<p>集合住宅</p> <p>1 自治会未加入世帯は、不適正排出等があっても連絡ができない。</p> <p>⇒解決方法</p> <p>市が不動産に入居者の管理を徹底させる仕組みをつくる。</p> <p>2 美しいまちをつくるためには、各自が心掛けることしかない。</p>	<p>意見1</p> <p>ステーション収集は、何年もやってきて問題が出てきている。提示された解決方法は、市民が何度も市に要請してきたことばかりだ。</p> <p>なぜ、市は、不動産会社に管理を徹底させることができないのか。</p>	<p>回答1（市）</p> <p>市内に営業所のある不動産会社は、集積所を適正に管理するよう依頼すると、すぐ対応してくれる。問題は市外に営業所があったり、オーナーが市外に住んでいる場合だが、これらのケースでは、管理者が地元から離れているため、直接市民の視線を感じる機会がないので、指導しても対応してもらえないことが多い。</p>
<p>⇒解決方法</p> <p>(1) 立派なごみ置き場を作る。</p> <p>(2) 親は子どもの言葉に耳を傾けるので、学校や先生が子供に教育する仕組みをつくる。</p>	<p>意見2</p> <p>不動産屋が契約時に、ごみの適正排出について入居者に指導することが大切ではないか。</p>	<p>回答2（市）</p> <p>不動産会社からも指導はしてもらっている。市民課でも転入時に指導している。</p>
	<p>意見3</p> <p>最近、市から紙ごみの分別を啓発するための袋が配布されたが、30世帯のうち7世帯は、不適正排出のままで改善が見られなかった。個人の意識の改善は難しいのではないか。</p>	<p>回答3（市）</p> <p>日本全体のモラルが低下している現状で、厚木市だけ、モラルの低下を食い止めていくことは大変難しい。そういった観点から見ると、自宅の前にごみ袋を排出する形態をとれば、近所の目が気になって自制心が働き、モラルが向上する効果は期待できる。</p> <p>啓発には限界があって、市広報は自治会に加入していない世帯には届かず、市ホームページは意識の高い市民にしか届かず、新聞は若い人は購入しない傾向にあるなどの実態があるなかで、啓発だけに頼ることは難しいと感じている。</p>

<p>意見4</p> <p>大和市や藤沢市は戸別収集を導入しているが、不適正排出について、どのように対応しているのか</p>	<p>回答4</p> <p>戸別収集を導入後、最初は不適正に排出されたごみ袋は徹底して持って行かないということを実施したと聞いている。</p> <p>八王子も戸別収集を実施しているが、導入後しばらくは、集合住宅の集積所に指定袋に入っていないごみが山のように残っていた。居住者が困った状況になれば、管理会社が解決しようとするので、効果はある。</p>
<p>意見5</p> <p>不適正に排出されたごみを徹底的に持って行かないと、家庭ごみがコンビニなどに不法投棄されることが増えるのではないか。</p>	<p>回答5</p> <p>それは、そこまで心配しなくてもよいのではないか。</p>
<p>意見6</p> <p>前回までの話し合いのなかでは、ステーション収集を維持して、高齢者等に焦点を当てた戸別収集を拡充していくことが望ましいとの意見も多く見られたが、そのあたりはどう考えたらよいのか。</p>	<p>回答6</p> <p>森の里では、高齢者専用の集合住宅があり、ごみ出しも含め居住者の生活全般の支援をしている。この手法を全市に広めていけばよいのではないか。</p> <p>今回は、戸別収集、ステーション収集に分かれてディベートという形で意見をまとめたので、個々の意見と違うレベルで意見形成を行ったことから、今までの話し合いの流れと違う方向になったとしても仕方がないと思う。</p>